



センター NEWS

Wakayama
International
Exchange
Center
News

2021年3月発行



和歌山県国際交流センターは、コロナ禍の中オンラインによるセミナーや研修会を開催しています。当センターは現在、和歌山県国際交流センターボランティアを募集するにあたり、YouTubeを使って和歌山県国際交流センターの活動を紹介します。ボランティア登録の方法も説明させていただきます。

地域で何かしてみたいという方は、是非、和歌山県国際交流センターボランティアに登録して活動してください。

Wakayama International Exchange Center Amidst Corona

We hold online seminars and workshops. Our center has started using YouTube, and in recruiting Wakayama International Exchange Center volunteers, we use YouTube to introduce the activities of Wakayama International Exchange Center and to explain how to register as a volunteer.

For those who would like to do something in their area, please register and be active as a volunteer of Wakayama International Exchange Center.

目次

- P 2 和歌山県国際交流センターボランティア募集
- P 3~4 グローバルセミナーから
- P 5 和歌山県内の国際交流活動ほか
- P 6~P 7 つれもていこら和歌山
- P 8 応援団通信
- P 9 JICA和歌山デスクです
- P 10 WIXAS コーナー
- P 11~P 12 !Hi Hai Hola Xin Ch ào こんにちは!

和歌山県国際交流センター

〒640-8319 和歌山市手平 2-1-2 和歌山ビッグ愛 8F
開館時間：水曜日・祝日・12月29日~1月3日を除く
毎日 10:00~18:30

Wakayama International Exchange Center

Business hours: 10:00 a.m.-6:30 p.m.
Closed: Wednesdays, national holidays,
December 29 to January 3
Address : 8th floor, Wakayama Big Ai Bldg.,
2-1-2 Tebira, Wakayama City 640-8319

和歌山県国際交流センターボランティア随時募集

和歌山県国際交流センターでは、下記の「和歌山県国際交流センターボランティア」を募集しています。

和歌山県国際交流センターチャンネルでは、ボランティアの登録制度、活動の様子などを動画配信しています。



和歌山県国際交流センター チャンネル  YouTube

●通訳・翻訳

日常会話及び日常文程度以上の日本語力を有する外国人の方、または日本人でスピーチや討論ができる、あるいは日常文の翻訳は支障なく出来る程度以上の方

●ホームステイ

日本家庭や日本文化に関心のある外国人を一定期間家庭に受入れ、家族の一員として共に生活する中で相互理解と友好を深めていただけるご家族で、この登録制度の趣旨を家族全員が理解し、人種・民族・国籍や地域などを問わず受け入れることができる方

●日本文化紹介

和歌山県に在住する外国人を支援するという視点からセンターなどで日常的な日本の生活習慣やマナー、伝統文化を紹介しようとする意欲のある方

●外国文化紹介

和歌山県に住んでいる外国人、または日本以外の国で生活経験（留学・ワーキングホリデー・仕事等）のある日本人で、センター及びその付近で在住外国人を含む県民の方に、わかりやすくその国の文化紹介をしたり、国際理解をサポートする意欲のある方

●情報収集提供

①センターの情報誌等の作成

ミニコミ誌作成に関心があり、センターで行われているイベントを中心に情報発信するための情報誌作成に協力していただける方

②センターの資料閲覧室の運営（活動場所：和歌山県国際交流センター内）

本が好きな方で、定期的にセンター内の受付カウンターで図書の出借、返却または図書整備等、図書に関わる活動に協力していただける方

●日本語

日本語教育能力試験合格者、日本語教師養成講座修了者、または現在受講している方で、日本語を母語としない在住外国人の方へ日本での生活に必要な日常日本語の習得をサポートしようとする意欲のある方

登録資格

和歌山県内に在住、または通勤・通学している方。センターのボランティア活動に主体的に参加する意欲があり、登録期間中、センターとの連絡が円滑に取れ、センターが提供する他の活動場所においても活動できる18歳以上の方。また、他のボランティアの方と協力して、活動に関わることのできる方。

ボランティア登録方法

上記のYouTube動画をご覧の上、右記までご連絡ください。「ボランティア活動調査票」に所定事項を記入いただき、登録させていただきます。
※調査票の記載内容を審査し、登録の採否を決定いたします。登録は無料です。

◎お問い合わせ先◎

和歌山県国際交流センター 担当：奥
（一指定管理者）（公財）和歌山県国際交流協会
640-8319
和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8階
TEL：073-435-5240 FAX：073-435-5243
E-Mail：naoko@wixas.or.jp

時代に翻弄されてきた夜間中学の歴史と現在 ～「外国人」受け入れの経緯を中心に～

2月20日（土）和歌山信愛大学 江口怜助教を講師にお招きし、ZOOMによるオンラインで開催しました。

みなさんは、夜間中学をご存知でしょうか。

夜間学校といえば、貧困家庭の学齢の中学生が夜に学ぶ学校、日本人や在日コリアンの高齢者が読み書き（識字）を学ぶ学校、ニューカマーの生徒が日本語を学ぶ学校、不登校の生徒が行く学校などのイメージがありますが、夜間中学校は明確な定義が難しく時代による変化が極めて大きく正式な名称もありません。

夜間中学には公立夜間中学校と自主夜間中学校があります。夜間中学校の多くは公立中学校の敷地・校舎で開校されており、週5日、午後5時半から9時ごろまで義務教育段階の教科学習が行われ、学校行事も行われています。現在、生徒数の8割を超える外国籍生徒が学んでいます。

自主夜間中学は、市民がボランティアで運営し、公立夜間中学の開設運動と併せて行う場合も多くあります。

夜間中学校は1947年10月、大阪市立生野第二中学校に「夕間学級」が開設されたことから始まりました。幾つかの時代を経て、幾度かの大きな変遷を辿って今日に至っていますが、外国人の観点から見た場合、年代によって韓国からの引揚・帰国者、中国からの引揚者、在日朝鮮人、インドシナ難民、1990年の入管法の改正後はその他の外国人の急増など社会変化によって生徒の出身も変わってきています。現在の夜間中学校の主となる外国籍生徒の国・地域は、中国、ネパール、韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピン、タイ、ブラジル、インド、アフガニスタン、ペルー、台湾となります。夜間中学校の入学理由として日本国籍の方は「中学校の学力を身に付けたい」という方が多い中、外国籍生徒の方は「日本語が話せるようになるため」という方が圧倒的に多いです。夜間中学校は日本語読み書き教室ではありませんが、外国籍の方にとって、日本語を学習できる居場所となっているのも事実です。公立夜間中学校では「外国人」受け入れを巡る課題は多く、特に日本語教育保障をめぐる課題は大きいです。日本語教育の専門家の不在や不足など日本語教育と義務教育との重なりやズレをどうしていくか、夜間中学の果たすべき独自の役割とは何か？このような中、夜間中学校ではありませんが、和歌山では2019年和歌山県教育委員会生涯学習課所管の「きのくに学びの教室」が和歌山市・橋本市・田辺市・新宮市で開設されました。ここにも外国籍生徒が学びの場として学習しています。

江口助教のお話から夜間中学校の知識・理解を深めることができたという感想が多く、技能実習生が増えている現在、さらに夜間中学校の役割や課題を社会全体で考えていかなければならないと実感いたしました。



講師 江口 怜 氏
和歌山信愛大学 助教



グローバルセミナー・NPO 協働事業



県人会子弟に聞く ～ブラジル&アルゼンチンの現在

昨年 1 月ブラジル・アルゼンチンから和歌山県人会の子弟 2 名が和歌山にルーツを訪ね、祖先の出身地訪問や日本文化を学ぶために県内に 3 週間滞在し、様々な交流活動に参加しました。

1 年が経った現在、現地ブラジル・カンポグランデ市在住のヤスミン マヤ タニグチさん、アルゼンチン・ブエノスアイレス市在住の下山美和さん^{みか}から自国での生活や和歌山県での滞在を振り返るなど、「ブラジルとアルゼンチンの現在」を話していただきました。

2月14日（日）日本時間の 10 時 30 分から和歌山⇄ブラジル⇄アルゼンチンを Zoom でつなぎオンラインで開催しました。

時差が 1 2 時間ある中で、参加者の方々は、二人の顔がパソコンの画面に出ると歓声があがり「久しぶり、元気ですか」とのやり取りから始まりました。二人はまるで今、日本での学生生活を楽しんでいるかのように日本語も流暢でとても近くに感じました。

ヤスミン マヤ タニグチさんはまさに受験生で、自分の夢が和歌山県を訪問したのがきっかけで変わったことや、ブラジルもコロナ禍の中でオンライン授業を受けていることなど話してくれました。下山美和さんは和歌山県から帰国後、父親と故郷和歌山の話ができたことが嬉しかったと話してくれていました。

二人とも元気で、和歌山でお世話になった方々と楽しく話していました。

そして、ブラジル和歌山県人会谷口会長やアルゼンチン和歌山県人会里信会長にも参加いただき、これからオンラインを活用した交流の在り方などを探っていくきっかけとなりました。



主催：和歌山県国際交流センター、公益財団法人和歌山県国際交流協会 共催：わかやま南北アメリカ協会

外国人のための「専門家による一日相談会」

3月7日（日）田辺市で外国人のための「専門家による一日相談会」を開催しました。各分野の専門家などをお迎えし、法律、在留資格・帰化、労働・社会保険・年金、教育、女性、国などの行政、市政・生活一般情報の 7 ブースを設け、英語、中国語、フィリピン語、ベトナム語、日本語の 5 言語で相談に対応しました。

在留資格や帰化、国際結婚、社会保険や税金、外国につながる子どもの教育問題など多岐にわたり、計 20 件の相談が寄せられました。



和歌山県内の国際交流活動

やさしいドイツ語文化講座 ～ドイツ人とドイツ語で話そう～

世界には実にさまざまな言語・文化があります。そのなかで私たちはドイツ語に焦点を当て、異文化交流を進めています。かつて日本は憲法や教育制度などをドイツから学び、現代では日本の武術やマンガなどがドイツにも定着しています。そうした相互の社会文化的なテーマも盛り込みつつ、気楽な雰囲気の中、簡単な会話をとおして国際交流を深めていきます。さしあたり旅行の予定はないが異文化コミュニケーションに興味があるという方にもおすすめです。



ドレスデンのクリスマス 世界最古のクリスマス市

- ★講座内容：ドイツ語圏文化・初歩のドイツ語を学ぶ
- ★講師：田島 昭洋（大阪市立大学ドイツ語講師・文学博士）ほか
- ★講座日程：4/3～7/17土曜日 16時45分～18時15分
- ★開講場所：和歌山県国際交流センター（ビッグ愛8階）
- ★資料代ほか：20,000円 / 全18回
- ★定員：15名、申し込み先着順で受付、定員になり次第締め切ります。

*受講ご希望の方は、氏名、〒住所、電話番号を明記し下記へお申込み下さい。

*お申込み及びお問い合わせ先（ドイツ語文化交流会）〒649-6253 岩出市紀泉台296 辻 哲郎
TEL：0736-61-1136

和歌山県庁からのメッセージ

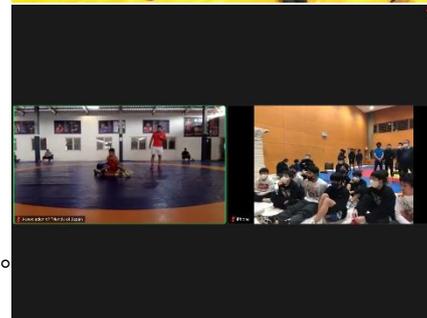
和歌山県とインド・マハラシュトラ州とのスポーツ交流

～新型コロナウイルスに負けない絆～

和歌山県とインド経済を牽引し、ムンバイを州都とするマハラシュトラ州は、2013年に覚書を締結し、交流が始まりました。その後、2018年には広範な分野における相互の関係性拡大を目的に覚書の更新を行い、観光、文化、教育等の様々な分野で交流を深めています。

こうした中、2020年2月に和歌山県レスリング協会及び和歌山県の関係者が同州を訪問し、マハラシュトラ州レスリング協会とスポーツ交流を実施したことがきっかけとなり、新たな関係が始まりました。しかしながら、同訪問の直後に、新型コロナウイルス感染症が拡大し、対面での交流が難しくなりましたが、互いの絆が途切れぬようオンラインによる技術交流を継続して実施しています。

本県としては、こうした交流を引き続きバックアップしていきたいと考えています。



つれもていこら和歌山



このコーナーでは、田辺市熊野観光ツーリズムビューローから和歌山の観光地を多言語で情報発信します。

In this section, the information on sightseeing spots in Wakayama which are provided by Tanabe City Tourism Bureau will be shared in some different languages.

田辺市熊野観光 Tourism Bureau 用多种语言为各位介绍和歌山县的观光景点。

Sa seksyong ito, ang impormasyon sa mga mapapasyalan na lugar sa Wakayama na ibinigay ng Tanabe City Tourism Bureau ay ibabahagi sa ilang wika

Góc giới thiệu về du lịch của thành phố Tanabe.
Thông tin địa điểm tham quan du lịch của Wakayama được giới thiệu bằng đa ngôn ngữ.

くまのこどう さんていあごじゅんれい みち 熊野古道とサンティアゴ巡礼の道について

せかいいさん とうろく すうひゃくきろ およ みち せかいいさん せかい 2れい くまの
世界遺産に登録されている数百キロに及び「道」の世界遺産は、世界に2例しかありません。1つは、熊野
さんざん つづ さんけいどう くまのこどう ひとつ かとりっくさんだいせいち すべいんこく
三山へと続く参詣道である「熊野古道」、もう一つは、カトリック三大聖地のひとつであるスペイン国
がりしあしゅうさんていあご で こんぼすてーらし だいせいどう つづ さんていあごじゅんれい みち
ガリシア州サンティアゴ・デ・コンポステーラ市にある大聖堂へと続く「サンティアゴ巡礼の道」です。

わかやまけん がりしあしゅう たが れきし こどう ゆう ちいき ねん しまいどうていけい ていけつ
和歌山県とガリシア州は、互いに歴史ある古道を有する地域として1998年に「姉妹道提携」を締結し、
かんこう ぶんか げいじゆつ きょういくとうはひろ ぶんや こうりゆう おこな
観光、文化、芸術、教育等幅広い分野において交流が行われています。

また、たなべし さんていあご で こんぼすてーらし ねん かんこうこうりゆうきょうてい ていけつ
田辺市とサンティアゴ・デ・コンポステーラ市においては、2014年に「観光交流協定」を締結
し、じぞくかのう かんこうち じゅんれいぶんか せかい む はっしん とりくみ おこな ぐたいてき
持続可能な観光地づくりと、巡礼文化を世界に向けて発信する取組が行われています。その具体的

な取組として、とりくみ ぶた みち じゅんれいしゅ そうか そんざい おういんちょう じゅんれいてちょう
二つの道の巡礼者を増加させるために、それぞれに存在する押印帳・巡礼手帳を
いったいか きょうつうじゅんれいてちょう りょうめん はっこう いったい とうはじょうけん くりあ かた きねんびんばっち
一体化した共通巡礼手帳(両面)を発行し、一定の踏破条件をクリアした方に、記念ピンバッチと
きょうつうじゅんれいたっせいしやうめいしよ そうてい ねん がつまつげんざい せかい こく にん たっせい
共通巡礼達成証明書を贈呈しており、2021年2月末現在、世界57ヶ国 3,490人が達成して
とうろく
登録されています。

About the connection between Kumano Kodo and Santiago Pilgrimage Road

Around the world, there are only two "Roads" that stretch for hundreds of kilometers and are registered as World Heritage Sites. One is the "Kumano Kodo", which is a pilgrimage road leading to Kumanosanzan, and the other is the "Santiago pilgrimage road" leading to the Cathedral in the city of Santiago de Compostela, Galicia, Spain, which is one of the three major Catholic sanctuaries.

As both Wakayama Prefecture and Galicia have regions with historical ancient road, they had agreed to have a "Sister Road Tie-up" in 1998 and exchanges are taking place in a wide range of fields such as tourism, culture, art and education.

In addition, Tanabe City and Santiago de Compostela City had concluded to have the "Tourism Exchange Agreement" in 2014, and efforts are being made to create sustainable tourist destinations and disseminate pilgrimage culture to the world. As specific initiatives, in order to increase the number of pilgrims on the two roads, we issue a common pilgrim passport (two sides) that integrates the stamp book and pilgrim passport, a commemorative pin badge and a common pilgrimage achievement certificate are presented to those who have cleared some certain conditions, and there are 3,490 people from 57 countries around the world that have achieved and were registered as of the end of February 2021.

熊野古道与圣地亚哥朝圣路之缘

长达数百公里，并被列入世界遗产的“路”，在这个世界上只有两条。一条是，通往熊野三山的参拜道“熊野古道”，还有一条就是通往天主教三大圣地之一，西班牙的加利西亚州，圣地亚哥·德孔波斯特拉市大圣堂的“圣地亚哥朝圣之路”。

和歌山县与加利西亚州，因分别拥有这具有历史性的古道之缘，于1998年缔结了「姐妹路提携」，并在观光，文化，艺术，教育等广泛的领域里展开交流。

此外，田边市和圣地亚哥·德孔波斯特拉市于2014年缔结了「观光交流协定」，为创造持续性的观光景点，并向世界介绍巡礼文化而共同协助。具体实行的事项如，为增加古道的巡礼者，把分别存在的盖印手册和巡礼手册统一起来，发行了共同的巡礼手册（两面），并对达到一定指标的人士赠予纪念章和共同的巡礼达成证明书，据登录资料，至2021年2月为止已经有57个国家，3490人达到了指标。

Tungkol sa koneksiyon sa pagitan ng Kumano Kodo at Santiago Pilgrimage Road

Sa buong mundo, mayroon lamang dalawang “Mga Daan” na may habang umaabot hanggang daan-daang mga kilometro at nakarehistro bilang World Heritage Site. Ang isa ay ang “Kumano Kodo” na isang daan sa paglalakbay patungo sa Kumanosanzan, at ang isa pa ay ang “Santiago Pilgrimage Road” na patungo sa Katedral sa lungsod ng Santiago de Compostela, Galicia, Spain, na isa sa mga tatlong pangunahing Katolikong santuwaryo.

Tulad ng Wakayama Prefecture at Galicia na may mga lugar na may makasaysayang sinaunang kalasada, sila ay sumang-ayon na magkaroon ng isang “Sister Road Tie-up” noong 1998 at ang kanilang pagpapalitan at nagaganap sa isang malawak na hanay sa larangan ng turismo, kultura, sining at edukasyon.

Bilang karagdagan, ang lungsod ng Tanabe at ang lungsod ng Santiago de Compostela ay nagpasyang magkaroon ng “Pakikipagpalitan ng Kasunduan sa Turismo” noong 2014, at nagsisikap upang lumikha ng napapanatiling mga patutunguhan ng turista at palaganapin ang kultura ng pamamasyal sa buong mundo. Bilang isang tiyak na hakbangin, upang madagdagan ang bilang ng mga peregrino sa dalawang kalsada, naglabas kami ng isang pangkaraniwang pasaporte ng peregrino (dalawang panig) na magkasama ang stamp book at pilgrim passport, isang commemorative pin badge at isang pangkaraniwang pilgrimage achievement certificate ang inaabot para sa mga taong nakamit ang ilang mga kundisyon, at mayroong 3,490 katao mula sa 57 na bansa sa buong mundo na nakamit at nakarehistro noong Pebrero 2021.

Giới thiệu về mối quan hệ giữa hai con đường hành hương Kumakodo và Santiago.

Những con đường dài hàng trăm Km đã đăng ký và được công nhận là Di sản văn hóa thế giới tính tới thời điểm hiện nay chỉ có duy nhất 2 trường hợp

✧ Một là, con đường hành hương Kumakodo hướng đến khu vực linh thiêng Kumano Sanzan.

✧ Hai là, con đường hành hương Santiago dẫn đến Nhà thờ lớn ở Satiago de Compostela, Galicia, Tây Ban Nha là một trong ba nhà thờ chính của Công giáo, một trong những địa điểm được cho là vô cùng linh thiêng.

Vào năm 1998 Tỉnh Wakayama và Galicia đã có những thỏa thuận ký kết đối với hai con đường “ví như là Chi em” với tư cách là một trong những khu vực có những con đường có lịch sử lâu dài, cổ kính và linh thiêng. Các hoạt động giao lưu diễn ra trên nhiều lĩnh vực như du lịch, văn hóa, nghệ thuật và giáo dục...

Ngoài ra, vào năm 2014 Thành phố Tanabe và Thành phố Santiago de Compostela đã ký Thỏa thuận trao đổi Du lịch, đã và đang đang nỗ lực để tạo ra điểm du lịch bền vững, phổ biến văn hóa hành hương ra thế giới.

Diễn hình cho sự nỗ lực cụ thể đó là, nhằm thu hút lượng du khách hành hương trên hai con đường, một hệ chiếu hành hương chung được tích hợp từ sổ đóng dấu và hộ chiếu hành hương tồn tại dành riêng cho từng con đường trước đây (dành cho những người đã được cấp cả hai bên và được xóa một số điều kiện đi lại nhất định), tặng huy hiệu kỷ niệm và giấy chứng nhận thành tích hành hương chung trên cả hai địa điểm. Tính đến cuối tháng 2 năm 2021, đã có đến 3490 người từ 57 Quốc gia trên thế giới đã đăng ký và được cấp giấy chứng nhận chung.



応援団通信



<https://www.wakajicavo.com>

青年海外協力隊 外間優海さん

派遣期間：2018年7月～2020年3月帰国

派遣国：ベナン共和国

アフリカの西側にあるベナン共和国、その国の経済首都にあたるコトヌーという街が私の任地でした。配属先は視覚障害者の方のための社会福祉センターで、配属先に併設している盲学校で活動していました。

慣れない海外での生活に戸惑うことも多かったですが、現地の方々に助けられながら生活し、活動することができました。本来の任期より3か月ほど短くなってしまい、現地の先生とするはずだった体育の授業をできず中途半端にしてしまったこと、帰国前に子どもたちと鍵盤ハーモニカを使って楽器で遊ぶ約束を果たせなかったことが心残りです。現地の先生方とは今でも連絡を取り合っているの、いつか、また直接会って、現地の食事を囲みながら笑って話せる日が来ることを願っています。



★和歌山信愛大学で出前授業を行いました！

令和2年12月16日（水）、22日（火）の両日、和歌山信愛大学1年生を対象にボランティアへの理解を深めるための授業に講師としてヨルダンからの帰国隊員服部光さんを派遣しました。そして、中嶋国際協力推進員がJICA事業について説明し、その中の一つに青年海外協力隊派遣事業があり、その事業で服部さんが青年海外協力隊でヨルダンに派遣されたことなどを説明しました。

服部さんはアラビア語で自己紹介し、ヨルダンの国の様子を紹介しました。ヨルダンでは動作で意志を表すサインがあり、言葉より先にそのサインを覚え、活動現場や地元の方とのコミュニケーションで大変役立ったと話していました。

ヨルダンの幼稚園で日本の運動会をどうしてもしたくて、実際保護者も呼んで運動会を開催しました。そして最後に青年海外協力隊として活動していく中で「自分の武器を知る」「常に疑問を持つ」「好きなことをする」の3つが大切だと話して講義を終了しました。



運動会を開催！一番人気の綱引きは大盛り上がり。後ろで先生たちも応援している。



Malo! JICA 和歌山デスクです

～国際協力機構（JICA）国際協力推進員からのお知らせ～

JICA 海外協力隊 派遣状況

◆現在、各国での隊員の任地の状況などを踏まえ、国別・案件別に渡航再開の是非を検討しています。

◆渡航再開済みとなっている国はカンボジア、ケニア、セルビア、タイ、中国、ベトナム、ラオス、マダガスカルです。

◆国毎、案件毎に検討しており、今後、準備の整った他20カ国について、渡航を再開する予定です。

（※2021年2月26日時点）

◆2020年度は協力隊派遣前訓練も延期になっておりましたが、2021年4月より訓練を再開いたします。

【お知らせ】

2021年春募集について

JICA 海外協力隊（長期派遣）
2021年春募集を

2021年5月20日（木）～

6月30日（水）で実施します。
募集の詳細につきましては、今後ホームページにてお知らせいたします。なお、2020年度短期第3回募集は中止とさせていただきます。

◆はじめまして！

1月よりJICA和歌山デスクを担当しております、原奈央（はらなお）です。私は、2019年1月～2020年3月まで青年海外協力隊員として、サモアの小学校で算数や英語の指導をしていました。サモアは南太平洋に位置する島国で、年中暖かい気候であり、海や自然がとってもきれいなところですよ。サモアで過ごした時間、サモア人との日々の生活はとっても楽しく、私自身の学びもたくさんありました。この経験を経て、地元和歌山県でも国際協力について、お手伝いできれば幸いです。お会いできることを楽しみにしております♪

★Maloはサモア語の挨拶です★



◆SDGs バックヤードツアー@アドベンチャーワールド



1月9日にアドベンチャーワールドにて、和歌山県高等学校国際教育研究会主催による、「国際教育セミナー」が開催されました。

「環境編」と「動物飼育編」のSDGsを意識したバックヤードからの見学、「働く環境編」として社屋や食堂、企業内保育園の見学の

ほか、社内制度についてのお話を聞きました。午後のワークショップでは、アドベンチャーワールドの取り組みとSDGsについて考えました。ワークショップの前には、パンダ繁殖に至る背景や今後の活動の展望のお話や教育連携についての事例紹介もしていただきました。すべてをふまえて、国際理解教育やSDGs学習に必要なヒントを得ることができました。

お問合せ先 担当：原 奈央（Nao Hara）

✉ jicadpd-desk-wakayamaken@jica.go.jp

ホームページ：<https://www.jica.go.jp/kansai/index.html>

FaceBook：<https://www.facebook.com/jica.wakayamadesk/>



令和2年度賛助会員のご紹介

ご協力、ご支援を心より感謝申し上げます！

法人会員

南海スチール（株）様、協和プレス工業（株）様、
榎谷精工（株）様、（株）インテリックス様、
（株）南北様、（株）サンライズ様、（株）春風会様、
医療法人 千徳会様



人も基礎から、住宅も基礎から
南海スチール株式会社



KYOWA
協和プレス工業株式会社
KYOWA PRESS INDUSTRY, INC.



生活支援ネットワーク
春風会



医療法人 千徳会
桜ヶ丘病院

団体会員

わかやま南北アメリカ協会 様、
和歌山県日韓親善協会 様、i愛句会 様、
一般社団法人 ガールスカウト和歌山県連盟 様

個人会員

福島 三恵 様、迫間 脩 様、佐藤 真理 様、
出口 博之 様、亀井 勝博 様、北野 雅久 様、
新井 悠喜雄 様、山下 智左枝 様、並木 美矢子 様、
池内 ひろ子 様、山中 正史 様、有田 雅一様、
中尾 春美 様、水城 実 様、康 思思 様、相川 恵 様、
津田 美起子 様、池上 博子 様 匿名希望 1 名 (順不同)

☆ WIXAS 賛助会員数 ☆ (2021年3月31日現在)

法人会員数 8法人 団体会員数 4団体
個人会員数 19名

◎公益財団法人和歌山県国際交流協会 (WIXAS)

は **賛助会員** を募集しています。

和歌山県内の各分野での国際交流活動、国際相互理解
及び国際協力を促進するとともに、在住外国人への支援
を推進しています。ことは、民族、国境を越えて誰にで
も開かれた地域社会づくりを図り、ひいては国際社会の
平和と発展に寄与することを目的に活動しています。

ぜひ当協会の活動にご賛同ください。

《賛助会員》会費 個人 3,000 円/年、
団体 10,000 円/年、法人 30,000 円/年

★特典★：イベントのご案内/情報誌の配布
法人や団体の行事への後援など

●本を読もう！

和歌山県国際交流センターに新しい
本が仲間入りしました。

そして語学に関係する図書について
いる CD も貸し出しすることになりま
した。中には貸し出しすることができ
ない CD もありますが、できるだけ語
学を勉強していただくために本と
セットにして貸し
出します。
詳しくは和歌山県
国際交流センター
の図書カウンター
でお聞きください。



●ご存じですか？

国際交流センターにデジタルサイネ
ージを設置して、和歌山県国際交流協
会の事業情報を紹介しています。



わかやまけん す がいこくじん かた 和歌山県に住む外国人の方へ

みなさまへ

日本では2019年10月から3歳から5歳の子どもが幼稚園、保育所、認定子ども園などの利用料金のお金がいりません。県と県内市町村では「紀州っこいっぱいサポート」をしています。1年間の収入が360万円以下の人は二人目の子ども(0歳から2歳)を保育園などに行くのにお金がいりません。ほかにも給食のおかず、おやつ、牛乳、お茶などの副食費のお金を支援しています。

To all the foreigners who live in Wakayama Prefecture Starting from October 2019, for children aged 3 to 5 who go to kindergartens, nursery schools and certified children's center in Japan, there is no need to pay for the tuition fee. The prefecture and municipalities within the prefecture provide "Lots of Support for Kishu Kids". For those whose annual income is 3.6 million yen or less, you don't need money to send your second child (1 to 2 years old) to a nursery school. Also, we give monetary support for side dishes such as in school lunch, snacks, milk and tea.

致各位朋友

在日本从2019年10月起, 3岁到5岁的学龄前儿童去幼儿园, 保育园或认定儿童园的费用一律免费。和歌山县和县内市町村也正在实行「纪州儿童支援」计划, 对于年收在360万日元以下的家庭, 免去第二个孩子(0岁到2岁)上保育园时的保育费。此外, 对于在保育园等应该支付的费用, 比如午餐的菜, 点心, 牛奶, 茶等副食费用给予一定的资助。

Sa lahat ng mga dayuhan na nakatira sa Wakayama Prefecture

Simula sa Oktubre 2019, para sa mga batang may edad 3 hanggang 5 na pumapasok sa mga kindergarten, nursery school at sertipikadong children's center sa Japan, hindi na kinakailangang magbayad para sa matrikula. Ang preperaktura at munisipalidad sa preperaktura ay nagbibigay ng "Maraming Suporta para sa Kishu Kids". Para sa mga taong may taunang kita na 3.6 milyong yen o mas mababa pa, hindi kailangan ng pera upang mapag-aral ang iyong pangalawang anak (1 hanggang 2 taong gulang) sa isang nursery school. Gayundin, nagbibigay kami ng pera na suporta para sa side dishes tulad ng pagkain sa paaralan, meryenda, gatas at tsa.

Gửi tất cả những người bạn nước ngoài sống tại Tỉnh Wakayama

Tại Nhật từ tháng 10 năm 2019 trẻ em từ 3 tuổi đến 5 tuổi không phải trả tiền khi đi nhà trẻ và mẫu giáo. Chính quyền Tỉnh và các Thành phố trong Tỉnh cũng có nhiều hoạt động hỗ trợ đặc biệt cho trẻ em. Những gia đình có thu nhập năm dưới 360 triệu yên thì không phải trả tiền đi mẫu giáo từ người con thứ hai. Ngoài ra chúng tôi cũng hỗ trợ thêm tiền đồ ăn cho bữa ăn phụ, bím tã, sữa, trà V.v...

和歌山県国際交流センター

☎ : 073-435-5240

FAX : 073-435-5243

URL : [https:// wak-kokusai.jp](https://wak-kokusai.jp)

